

# Construction Machinery

## 建設機械関連事業



ショベル事業を担うコベルコ建機(株)とクレーン事業に特化したコベルコクレーン(株)は、独創的な技術を駆使した商品開発を行うとともに、アライアンス戦略を軸としてグローバルに事業を展開しています。

### 2007年度の事業環境および業績

油圧ショベルの国内市場は、中国などへの中古車輸出の活況を背景とした更新需要が引き続き好調であったものの、後半には住宅投資の落ち込みから、需要の拡大に減速傾向が見られました。一方、海外については、住宅着工件数の低迷を受け需要が減退している米国市場を除き、中国市場を中心に総じて好調に推移しました。また、クレーンについても、北米や中東、東南アジアを中心に旺盛な需要が継続しました。以上の結果、建設機械関連事業の売上高は前年度比19.1%増収の3,399億円となりました。営業利益は前年度に比べ80億円増益の228億円となりました。

### ショベル事業

#### ●2007年度の概況

国内市場では、排ガス第3次規制に適合した油圧ショベルの市場投入に加えて、中・大型ホイールローダのフルモデルチェンジ、新型ミニショベルの一斉モデルチェンジなどを行い、需要の伸びを上回る販売増加率を達成しました。

中国市場においては、中国第一生産拠点「成都神鋼建設機械有限公司」(四川省成都市)および中国第二生産工場「杭州神鋼建設機械有限公司」(浙江省杭州市)の2拠点生産体制が順調に機能し、過去最高の現地生産・販売台数を達成することができました。

中国を除く海外では、「CNH Global N.V. (以下、CNH)」とのグローバルアライアンスに基づき、①アジア・太平洋地域を中心とした事業展開、および②欧米におけるCNHとの合弁事業のさらなる強化に取り組みました。



後方超小旋回ミニショベル

### Topic

#### ■タイに油圧ショベル新工場を建設

コベルコ建機(株)がタイ・ラヨン県に建設していた油圧ショベルの生産工場が完成し、2008年4月に第一号機を出荷しました。すでに1996年、部品製造の役割を担う「Thai Kobelco Construction Machinery Ltd.」を設立していましたが、今回の完成機工場の新設により、油圧ショベル一貫生産体制の構築が可能となりました。さらなる需要の拡大が見込まれる東南アジア全地域にショベルの供給を行い、プレゼンス向上に努めていきます。

#### ●今後の戦略

ショベル事業では、世界的な需要拡大が続く中、「ものづくり力」を強化し、質・量でタイムリーに対応できる体制づくりを行っていきます。具体的には、広島・大垣両事業所の“世界のマザー工場”としての「ものづくり力」向上、タイ工場の順調な立ち上げ、中国生産拠点の整備と品質の維持向上を図る「グローバル生産体制の構築」「コストアップへの適切な対応」「市場の変化に対する柔軟で迅速な対応」「さらなるコンプライアンスの遵守」「次期排ガス規制に対応した新モデルの開発」「インド、インドネシアなど東南アジア市場の販売拠点の整備、拡充」「CNHとの連携強化、新興国市場も含めたマーケットの拡充」を重点課題と位置づけて取り組んでいきます。

#### クレーン事業

##### ●2007年度の概況

世界的なクレーン需要の拡大を確実にとらえるべく、中東・北米・東南アジアなど重点地域への販売促進、ラインナップ強化に向けた新機種の開発促進、米国「THE MANITOWOC COMPANY INC.」および国内「(株)タダノ」との連携による収益力拡大、世界需要拡大に対応した生産能力増強、将来の景気後退に備えた事業基盤整備に取り組みました。

その結果、2007年度のクレーン新車販売台数は約850台を達成し、前年度比約16%の増加となりました。特に、中東・北米ならびに日本を含めたアジア地域における販売台数の拡大が、収益面でも大きく貢献しました。また、クローラクレーンの海外売上比率は80%（台数ベース）近くにまで達成しました。

#### ●今後の戦略

クレーン事業では、国内市場が引き続き拡大傾向にあり、また、中東の大型プロジェクトなどの建設投資が依然好調に推移することから、世界的なクレーン需要は、不透明ながらも引き続き好調に推移すると予想されます。このような中、「さらなる生産・出荷の最大化と安定生産体制の強化とコストダウンの実行」「提携パートナーとの協力体制の継続による収益拡大」「国内外の流通整備および新興市場での販売体制整備」「新モデルの早期市場浸透策実行によるホイールクレーンのビジネス強化」「ストックビジネス強化に向けた中古車会社事業運用体制の早期確立」「将来の景気後退を見据えた基盤強化と次期経営計画の構築」を重点課題として取り組んでいきます。



超大型クローラクレーン

#### Topic

##### ■遠隔稼働管理システムを開発

コベルコクレーン(株)は、ITを活用したクレーン遠隔稼働管理システム「KCROSS(ケイクロス)ーKOBELCO Crane Remote Observation Satellite System」を開発し、日本国内で販売する全クローラクレーンに標準搭載し、2008年4月より販売開始しました。移動式クレーンへの標準搭載は、国内メーカーでは同社が初となります。